

『オーガニック給食の会』

地産地食オーガニックな食べ物を食卓に♪ ～おとなも子どもも田畑づくり～

はじめまして

ゆうき生協組合員の皆さま、こんにちは！

組合員新米の野首邦子と申します。午前は看護師、午後は田畑活動に勤しみ謳歌しております。

私は幼少期より、愛媛南予の自然豊かなところで祖父母と共に育ち、自然との触れ合いを通して、食べ物の大切さや地域の方をはじめ色々な方と関わることの大切さを感覚的に感じられる環境にありました。

結婚し子どもが生まれてからは、自分が感じてきた環境の暮らしを子どもたちにもあじあわせたい、繋がりが創る豊かな暮らしができたらと思い描いていました。

自然栽培の田畑コミュニティ活動との出会い

3年前、夫の友達が子育て中のママたちと農家さんたちと共にしていた、松山拠点の田畑コミュニティ活動「畑のがっこう」に家族で参加しました。そこには地球や自然をみんなで分け合える社会が循環し続くよう、自分たちの手で安心できる食べ物をつくり、自分たちの心と身体を大切にする生きた学びの場がありました。南高井の田んぼ活動では、「お米は大切、お米づくりはいつまでもしたい！」と愉しそうに田植えと稲刈りに参加する子どもたちの姿がありました。自然の中での体験は心を解放してくれました。

また田畑の活動に加えて、地産地食オーガニック給食の推進、お味噌づくりに藍のたたき染め、食の講演会やイベントでのお野菜の出店等、楽しく笑って面白くをモットーにしている様々な活動に共感させられました。



田植えの様子



稲刈り作業中の私（笑）

幼稚園への玉葱、給食センターへのお米の納入

私は今、田畑活動のメンバーとして、今後の活動や年・月のスケジュールの話し合いに参加し組み立てています。

活動は5年目となりました。3年目には幼稚園に玉葱を納入し、子どもたちが食べる姿に感動しました。

お米づくりは5年目、地域の方々や農家さんたちの協力のもと、10月には学校給食に2回、「給食をオーガニックしたい！保護者有志団体」としてお米を納入することができました。

7月6日新月…はじめましての方から、ご近所の方、福祉施設の方を含めた、子どもからおとなまで総勢100名の皆さまと愉しく手植えで田植えをしました。田植え後は、田畑活動のメンバーと順番で毎日水管理し、ジャンボタニシと雑草との戦いを乗り越え、無事10月13日に稲刈りの運びとなったお米です。

わが子のように育てた大切なお米を、子どもたちが「甘くて美味しい！いつも食べたい！！」と頬張る姿、おかわりをする姿は本当に感動的でした。

これからもっと子どもたちが口にできる機会が増えるよう、田畑活動の周知とオーガニック給食へのさらなる理解や拡大の為にできることを取り組んでいこうと思います。



おかわり争奪戦で手をあげる子どもたち



この日の献立メニュー

久米の新米・のっぺい汁・鯖の生姜煮・胡麻和え

今後の活動への想い

これからもこの活動が根付き続くよう、地域の方々と農家さんたちとの関わりを大切にし、想いを共に抱いてくれる仲間作りに励み、仲間と共に愉しく活動していきたいです。

循環できるもの（=安全で安心なもの）を口にすることで、自分たちの心と身体を守ることができます。それは環境や自然を守ることにもつながっています。

こうした農業と食共育の経験をする機会を持つことで、自分たちは地域の人たちそして食べものに、支え、支えられ、支え合っていることに気付いてくれたら嬉しいです。

その気付きから、「ここに住みたい、ここで働きたい、農業がしたい」という気持ちに繋がるとさらにさらに嬉しく感じます。

地域、この愛媛松山がいつまでもいきいきと耀きますよう願っています。